

	一般的名称	報告の概要
314	ブスルファン	ブスルファンを含む全処置で同種造血幹細胞移植患者151例を対象としたレトロスペクティブ研究において、Grade3-4の重度の高ビリルビン血症を起こした患者では予後が悪かった。
315	ブスルファン	血液悪性腫瘍患者84例に対する10/10一致非血縁ドナーによるフルダラビン/1日1回静注ブスルファン/胸腺グロブリンを骨髄破壊の前処置として用いた造血幹細胞移植において、血小板生着不全により死亡した。
316	酒石酸エルゴタミン・無水カフェイン (1)	健康成人において、ゾルピデムとカフェインの併用により、ゾルピデムのAUC、Cmaxが上昇することが示唆された。
317	インドメタシン	NSAIDsとSSRIの併用により、重篤な上部消化器系副作用の発生率上昇が示唆された。
318	ヨウ化ブラリドキシム	ヨウ化ブラリドキシム投薬患者の血糖測定において、偽高値を示した事故発現施設使用機と基準機を用いて、偽高値を示す原因を調査したところ、事故発現施設使用機ではヨウ素の感受性が高かった。
319	アルテプラーゼ(遺伝子組換え)	局所脳虚血誘発マウスを用いたin vivo研究において、rt-PA誘発性虚血性脳損傷の悪化にポリADP-リボースの活性化増大が関与することが示唆された。
320	ジクロフェナクナトリウム	結腸切除後の疼痛治療に対しジクロフェナクを使用すると、吻合部裂開の発現率が高まることが示唆された。
321	ホリナートカルシウム	予後不良進行結腸直腸癌患者2135例を対象としたランダム化臨床試験(MRC FOCUS試験)において、24例が死亡した。
322	ホリナートカルシウム	転移性結腸直腸癌患者54例を対象としたフルオロウラシル/ロイコボリン療法とイリノテカン併用療法を検討するPhase II 試験において、1例が消化器毒性とGrade4の好中球減少症を伴う肺水腫により死亡した。
323	ワルファリンカリウム	リコンビナントP450酵素を用いたハイスループット阻害スクリーニング研究において、市販のグレープフルーツ種子エキスのP450阻害降下を調査したところ、含有している塩化ベンザルコニウムがin vitroにおいて、CYP3A4とCYP2C9の強力に阻害した。
324	塩酸シプロフロキサシン	12例の被験者を対象とした無作為化オープンラベル二方向交差試験において、シプロフロキサシンと炭酸ランタンを併用した際にシプロフロキサシンのバイオアベイラビリティが有意に減少した。
325	エストラジオール	閉経後ホルモン補充療法(HRT)を行っている患者において、経口避妊薬の過去の前使用者は非使用者よりも乳癌発症のリスクが高まることが示唆された。
326	プロピルチオウラシル	プロピルチオウラシルの初期投与量について検討を行ったところ、国内での本剤の初回投与量は推奨されないという結果に至った。
327	チアマゾール	チアマゾールの初期投与量について検討を行ったところ、国内での本剤の初回投与量は推奨されないという結果に至った。
328	ジクロフェナクナトリウム	結腸切除後の疼痛治療に対しジクロフェナクを使用すると、吻合部裂開の発現率が高まることが示唆された。